

農山漁村地域整備計画事前評価書

計 画 の 概 要	計画の名称	林業生産力倍増のための森林整備事業計画（第3期）
	計画策定主体	徳島県
	対象市町村	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町（21市町村）
	計画期間	令和2年度～令和6年度（5年間）
	計画の目標	本県では、平成17年度から実施してきた「林業プロジェクト」により、木材生産性の大幅な向上、若者を中心とした林業従事者の増加など、県産材の生産体制の強化が図られた。こうした成果を礎に、令和元年度から県産材の更なる増産と利用の拡大を図るため、「スマート林業プロジェクト」をスタートし、令和10年度には県産材生産量・消費量を70万m ³ まで高めることを目指してきた。本整備計画は、このプロジェクトを推進するために必要な、次世代通信技術やIoT・AIといった最新技術を駆使しつつ、主伐による搬出量の増加に対応できる路網整備の推進、計画的な主伐、再生林を図るため、林道開設及び森林整備の事業に取り組んでいる。令和6年度は、本県の林業における現況を精査した上で、令和10年度における県産材生産量の目標値を60万m ³ に改定し、林業の持続性を確保するため、これまでの取組を着実にやっていくこととする。
	評価指標	1 県産材の生産量（R1）45万m ³ から（R6）60万m ³
	対象事業及び関連事業	森林整備事業（機能回復整備事業・育成林整備事業・林道改良事業、林道点検診断・保全整備事業）
全体事業費	2,117,491千円	

項目	評価細目	評価	内 容
評 価	目標の妥当性	○	「未知への挑戦」とくしま行動計画、徳島県農林水産基本計画との整合性が図られている。
		○	成熟する森林資源の利用促進に向けた目標設定となっている。
価	整備計画の	○	「木材自給率」向上を図るために必要な事業について指標を設定している。
	効果・効率性	○	評価指標については、毎年度把握が可能であり対象事業了後に事後評価が可能。
	整備計画の	○	地域の課題を解決するために必要な施策を構成する事業である。
	実現可能性	○	地元の要望を踏まえ、また、従来から取り組んできた事業を継続するものである。